

● 第一部 (13:00~14:00)

ラジオ黄金期/テレビ草創期におけるドキュメンタリー制作についての研究発表とディスカッションを行います。 ゲスト: 辻 一郎さん(元毎日放送取締役編成主幹)

● 第二部 (14:10~17:30) 18:00まで延長する可能性あり。

2019年に放送されたラジオ番組『SCRATCH 差別と平成』(60分)を鑑賞します。制作者にご講演いただきます。その後、パネルディスカッションを行います。

講演:神戸金史さん(RKB毎日放送 報道局 デジタル報道担当局長)

パネリスト: 辻一郎さん、今野勉さん(テレビマンユニオン取締役最高顧問)

● 鑑賞番組『SCRATCH 差別と平成』の紹介

この番組は、相模原障害者施設殺傷事件を起こした植松死刑囚と、障害のある子を持つ神戸さんとの対話によって構成されています。接見時に録音はできないので、植松の声は、面会に立ち合った別の記者が精密に再現しています。神戸さんの言葉に、植松がどう答えたのか。 本研究会では、この番組をドキュメンタリードラマに位置付け、その表現の可能性や課題を考えます。放送文化基金賞最優秀賞など多数受賞。 制作・著作:TBSラジオ、RKB毎日放送

事前申し込みはこちらから

主催 福山大学人間文化学部メディア・映像学科映画会/専修大学人文科学研究所 日本映像学会ドキュメンタリードラマ研究会



